

研究課題の名称

「FOUNT N」を用いたカテーテル的血栓溶解療法(cathete「directed thrombolysis: CDT)の実態調査多施設後ろ向き研究

研究の目的及び意義

FOUNTAIN カテーテル(メリットメディカル・ジャパン)は血栓溶解療法の治療成績を向上させ、出血性副作用の発現を抑える目的で開発された多孔式インフュージョンカテーテルで、本邦においては CDT 治療の際に最も高頻度で使用されている。しかし単一施設での使用実績が少なく、また対象となる血栓性疾患も多岐にわたるため、実際の使用法も標準化されておらず、そのため有効性や安全性にも施設間で差異があることが予想される。

本研究は FOUNTAIN カテーテルの使用状況および治療結果に関する多施設実態調査を行い、収集したデータを解析し、今後の同カテーテルを使用した治療法の標準化を目指すことを目的とする。

研究対象者の選定方針

2018 年 1 月から 12 月の 1 年間に当院当科で FOUNTAIN カテーテルを用いて治療を行った症例を対象とする。対象疾患は問わない。

研究対象期間西暦 2018 年 1 月から 12 月